



時 言

## 賞美章の創定

我美術新報同人は、微弱ながらも、多年、我藝術發展の爲に盡瘁し來りたるが、吾人の言論と行動とは、近來幸に、斯界に於ける具眼の人士より、望外の信任を以て迎へられ、隨て發行誌數の益激増するに至りたるは、吾人の感荷措かざるところなるを同時に、愈奮勵以て微力を致さんことを期せずんばあらず。

(1) 而して其方策や、固より多しと雖、今其計劃の一として、新たに賞美章贈呈の事を創定し、茲に之を

發表するを得るに至りたるは、吾人に吾人の私に愉快とするところなるのみならず、又必ずや我藝術



賞美章 原案圖型 (未定稿) 銀牌金、色一徑、分八寸 作氏吉正畑

界の發展に裨補するところあるべきを確信す。

賞美章とは、毎年文部省展覽會

を初とし、其他公私一般の美術展覽會出品は勿論、繪畫、彫刻、建築并に美術工藝等、一切の美術的作<sup>品</sup>を通じて、我美術新報同人が、慎重に鑑評審議して、以て其一年間に於ける最も優秀なる作品と評定したる物一點を限りて、吾人が推賞嘆美の意を表する爲に、其作家に贈呈するものとす。此事は本年度より之を實行すべく、明春に於て嚴肅なる贈呈式を舉行して之を當選作家に贈呈せんと欲す。

吾人は固より自ら憚らず、敢て異を樹て奇を衒うて獨り高く標榜せんと欲するものにあらず、吾人が斯道の鑑賞に熱中し、其發展を希ふの誠意に於て、決して人後に落ちざるは大方の既に認識するところ、特に吾人は公平無私、不偏不黨を主義とするもの、何等情實の纏綿なく、何等利害の拘束なし、故に忌憚なく其信ずるところを發表して以て世に示すは、斯道研究の士に對して幾分の參考を

供すべく、作家に對しては、其傑作を賞美するの敬意を表する所以にして、若し更に、之に依て作家の名譽に向つて、一分一厘にても、其重さを加ふることを得ば幸甚し。

唯賞牌贈與の事が、近來往々廣告的に將た商賣的に、利用せらるるの傾なきにあらず、乃ち恐る、世或は吾人を以て、亦其輩に倣ふものと誤認するものあらんことを。依て吾人は特更に、決して彼等の卑劣なる行爲を摸するものにあらざることを力説するの必要を感ず。

吾人は徹頭徹尾、眞に藝術の向上を欲し、其發展を希ふが故に、此舉を發意し、慎重にして嚴正なる鑑評の結果を發表し、賞美の實を公示せんと欲するに外ならざるなり。然らずんば、吾人の舉は、却て斯界の風氣を害毒し、自ら信用を毀損するに過ぎざるを知る。大方幸に之を諒とせよ。

願ふに、近來歐洲の藝術界にて

は、藝術の意義正當に解釋せられ單に繪畫、彫刻と云ふが如き、狹き範圍に限らず、一切の工藝品の如きも、苟も藝術的價值あるものは之を藝術品と認るのみならず、之を近時我藝術界の實際に徴するも、純然たる美術展覽會中に、假令半ば工藝的性質を帯びるとも、苟も藝術的價值を有するものは、公然之を陳列するの傾向あるを認む、されば吾人も亦、此最近の、而かも正當なる見解に従ひ、獨り繪畫彫刻に限らず、建築、工藝等、苟も藝術的價值あるものは、一切之を藝術品と見做し、我賞美章贈呈の範圍を廣義に規定したり。此點に於ては敢て從來の慣例を固執せざることを、豫め辯明し置かんが爲に、特に一言を附記する所以なり。

若し夫れ吾人が鑑評すべき作品の發表せらるる舞臺を、主として東京地方に限るは、勢ひ已むを得ざる事に屬す。さりながら、方今

我邦藝術の中心は殆ど東京に在りと云ふも甚しき失當にはあらざるべく、隨て吾人鑑評の地方が、當分東京以外に及ばずとするも、甚しき過失なかるべしと思惟す。然れども若し非常なる傑作が、東京以外の地方に於て發表せらるる如き場合あらば、吾人の事情の許す限り、出張鑑評を試むべき覺悟は、固より之なきにあらざるのみならず、寧ろ斯る時期の速に到達せんことを祈つて止まざるなり。

終に臨んで吾人の希望するところは、茲に吾人の新たに發表する賞美章が、唯單に、年々幾多の作品中に於て、比較的優秀と認むべき作品に對して、事務的又は義務的に贈らるるに止まらず、眞に吾人の感嘆歡喜の結果として贈らるる程の傑作を得たきこと、即ち是れなり。敢て我藝苑の作家諸君に至囑す。